第９５回番組審議会議事録

１．開催年月日　　令和４年７月 26 日(火)　10：00～11:30

２．開 催 場 所　　ＣＯＭ倶楽部会議室（箕面市船場東２－５-47　ＣＯＭ３号館５階）

３．委員の出席　　委員総数　　６名

出席委員　　５名（内１名は書面参加）

出席委員の氏名　　稲垣千秋、桑田政美、智内威雄、神垣美代香、
中川弘佳、須貝昭子（書面参加）

放送事業者側出席氏名　　藤井　栄治（代表取締役社長）
大平麻由美（取締役放送局長）
新田　翔偉（編成課員）

４．議　　題　　１）「発見！技あり日本」特別編
２）審議
３）その他番組に対する意見

５．議事の概要　　事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

６．審 議 内 容

１） 番組

（１）事務局より番組説明

日本各地の伝統工芸や世界に誇る技術に携わるかた（職人さんや企業・お店のかた）にお話を伺い、日本のワザ、職人魂を紹介するコーナーです。

今回は、箕面・船場に本社を構える創業 96 年の企業の、作業手袋だけではない、1000 アイテムにものぼるオリジナル商品について、また、SNS の発信からロードバイカーに大ブレイクしたインナーウエアについて若いスタッフのかたにスタジオ出演いただき、お話を伺いました。

当コーナーは 2008 年 10 月から放送開始。着物や和小物が好きな担当パーソナリティが「世界に誇れる日本の技を紹介したい」と始めました。聴取者にも親しみを持ってもらうため、リスナープレゼントをいただいています。これまでに、熊野筆（広島県）、まげわっぱ（秋田県）、三輪そうめん（奈良県）、伊賀焼（三重県）、クレパス（大阪府）、眼鏡（福井県）、醤油（兵庫県）、嬉野茶（佐賀県）、芋焼酎（鹿児島県）、フリクションボールペン（東京都）、希少糖（香川県）、みりん（愛知県）、インスタントラーメン（大阪府池田市）、歯ブラシ（大阪府箕面市）、タオル（大阪府箕面市）など。今後も、箕面・船場を含め、日本全国の技をラジオを通して紹介していきたいと考えています。

（２）審　議

委員Ａ：このような番組内容のものは、テレビでもよく見かけるが、取り上げられた企業には、近所にも勤めているかたがいて親しみやすい。ここまでいろいろなものを作っていることは初めて知り、若いかたのエネルギーを感じることができていいなと思いました。コロナ禍のなか、酒造会社が除菌の消毒液を作りはじめたなど、これまでとは考えつかないことなどにも着目してほしい。

委員Ｂ：技術の紹介に留まらず、食の紹介なども聴けたら。取材は大変だと思いま

すが第5週だけでなくもっとやっていただきたい。ただ、今回に関していえば、製品よりも、催しの自転車の話題が多く、企業の良いところが伝えきれていないのではと感じました。製品の話をもっと掘り下げて聴きたかったです。

委員Ｃ：取り上げているものがプロダクトデザインなので、こういった話題は男子が大好きです。雑誌などでもよく特集されている。こんな会社が箕面にあったんだと、さっそく検索して、実は購入もしました。値段も安く売っていて、そういう出会いとしてすごくよかったと思いますが、番組として見たときに、改善点がいくつかあります。一つは、こういう番組は結構あるので、そこと比較したくなってしまう。少し視点をずらしてもいいのかなと。印象としては、可もなく不可もなくという感じで、結局商品の宣伝のような印象にも受け取れたので、会社の理念や、軍手からアンダーウェアに発展した、その中で商品だけではなく、会社が抱えているドラマみたいな部分を掘り下げても今後おもしろくなると感じました。1本の糸で軍手ができるという話は、純粋に興味が持てました。

委員Ｄ：コーナー時間が20分なので、制限の中で、どこまで突っ込んで話せるかは難しいと思います。こういった企業を取り上げる番組は、社長が出て来て、歴史的なことを語ったりするが、今回は若いかたが出られていたので、そういう面では、良かったと思います。よく企業の看板は見ていたが、そういう意味では、取り上げていただいたのはよかったです。番組全体に関しては、テーマがテレビ的なので、ラジオで、20分の枠の中で紹介するのは、非常に難しい。中途半端に終わってしまう可能性がある。ではどうしたらいいのかと考えれば、やはりコミュニティＦＭなので、地元に紐づけて、話していくのがいいと思いました。例えば、市民が目にするものとか、触れることができるものを、深堀りしていくと身近に楽しめるのではないかと。そういうおもしろさをこの番組には期待できると思います。

委員Ｅ：最近、働く人のためのアイテムの人気が高くなっていて、メディアでもよく取り上げられていますが、箕面で先駆的に商品を作っている企業があることに驚きました。そんな商品に携わっている職人さんにスポットをあてた着眼点もおもしろいと思います。ラジオを通じて商品と消費者(市民)を繋ぐと

いう番組のねらいが視聴者に届いていると感じます。お二人の職人としてのきっかけなど、もう少し聴いて見たいと思いました。ブレイクするきっかけになったＳＮＳでのユーザーの声というくだりは、情報の把握が今どきの流れだと感じました。

委員長：今まで日本は、物作りで世界をリードしてきました。日本の中小企業のさまざまな取り組みを取り上げてくれて、喜んでいます。十分に工夫して、今後も興味を持った感覚で番組制作してください。

７．審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

８．審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送
事務所への備置
ホームページ（https://company.minoh.net/）

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

令和４年７月 26 日

箕面ＦＭまちそだて株式会社　　番組審議会